

ICRP 次期主勧告ウェビナーのご案内（第一回 4 月 28 日（金）開催）

【主催】日本放射線影響学会（放射線リスク・防護検討委員会、企画委員会）

【開催日】2023 年 4 月 28 日（金）、6 月（未定）、8 月 4 日（金）、10 月（未定）

【開催方法】オンライン開催（Zoom）

【参加費】無料

【定員】各回 100 名 * 先着順

【申し込み方法】申し込みは下記の URL よりお申し込みください（各回ごとの申し込みになります。第 2 回の申し込みは 4 月 28 日以降を予定しております）。

URL : <https://forms.gle/DV7BhcJpb174CxTY6>

【申し込み期限】第一回は 4 月 21 日（金）まで

【趣旨】

日本放射線影響学会（放射線リスク・防護検討委員会と企画委員会による合同企画）では、この度、「ICRP 次期主勧告ウェビナー」を 4 回にわたって開催することに致しました。

前回の主勧告（ICRP Publication 103 ; 2007 年発行）から 15 年以上が経過しました。ICRP は、これまでに蓄積されてきた最新の科学的知見を基に、主勧告の改定に向けて検討を開始したところです。次期主勧告は 2030 年ごろに発表予定といわれています。次期主勧告により、放射線防護の考え方や枠組みに関する変更が予想され、法令改正を含めた対応が必要になると考えられます。本ウェビナーでは、ICRP で活動している先生方を中心にお招きして、次期主勧告に関する最新の疫学・生物影響に関する動向を中心に解説して頂きます。

本ウェビナーを通して、1)放射線防護や ICRP の活動への関心を広げる、2)次期主勧告（疫学・生物影響に関して）で何が変わろうとしているのかを知る、3)防護に繋げるための生物研究の課題を参加者と共に見出していく、ことを考えております。

第一回は以下の通り、4 月 28 日に「放射線生物研究の意義と今後期待される生物研究」というテーマで開催致します。併せて、ICRP の活動や ICRP2023 の紹介、日本放射線影響学会第 66 回大会の紹介も行います。

皆様のご参加をお待ちしております。

【第一回 のプログラム】

第一回（4月28日（金））16:00～17:30

座長：小嶋光明（大分県立看護科学大学）

- 1) 放射線生物研究の意義と今後期待される生物研究 16:10～16:50
講師：島田義也 先生（環境科学技術研究所）
- 2-1) ICRP2023 の紹介 16:55～17:15
講師：神田玲子 先生（量子科学技術研究開発機構）
- 2-2) 日本放射線影響学会第66回大会の紹介 17:20～17:30
講師：柿沼志津子 先生（量子科学技術研究開発機構）

【第二回以降の予定】

第二回（6月（未定）（金））16:00～18:10

申し込み：4月28日（金）以降に予定

座長：孫略（産業技術総合研究所）

- 1) 電離放射線の非がん影響（眼疾患、循環器疾患、神経疾患）16:05～17:05
講師：浜田信行 先生（電力中央研究所）
- 2) 低線量・低線量率における放射線リスク推論 17:10～18:10
講師：甲斐倫明 先生（日本文理大学）

第三回（8月4日（金））16:00～17:50

申し込み：6月に予定

座長：小林純也（国際医療福祉大学）

- 1) RBE、線質係数、および放射線加重係数 16:05～16:45
講師：佐藤達彦 先生（日本原子力研究開発機構）
- 2) 放射線の継世代影響：マウスでは観察されてヒトでは観察されない理由
16:50～17:50
講師：中村 典 先生（放射線影響研究所）

第四回（10月（未定）（金））16:00～

申し込み：8月に予定

座長：戒田篤志（東京医科歯科大学）

- 1) 原爆被ばく者の固形がんにおける線量反応関係の最近の知見
講師：坂田 律 先生（放射線影響研究所）
- 2) 医療ひばく健康リスク
講師：吉永信治 先生（広島大学）

【お問い合わせ先】

日本放射線影響学会放射線リスク・防護検討委員会

小嶋光明 / 恵谷玲央

E-mail: jrrs.rrp@gmail.com